

高等部（知的障害教育部門）

『キャップ仕分け』

ねらい

- ・仕分け（弁別）教材で、握る・離す・注視を促す。

使い方

キャップを生徒に手渡し、同じ色・マークに注目させながら仕分けさせる。



『ボールペン組み立て・解体』

ねらい

- ・手順通りにボールペンの組み立て、解体を行うことができる。
- ・同じ種類の部品を同じ入れ物に集めることで、規則性をもたせる。

使い方

- ① 部品を入れ物から取り出し、組み立てを行う。

※組み立て終了後は解体し、各部品をそれぞれ決められた入れ物に振り分ける。



『数のマトリックス表』

ねらい

- ・1～5までの数字と数量を対応させる。
- ・規則性を理解する。

使い方

- ① 初めは数枚見本として並べておく。
- ② 数字に対応させて、数字の横にカードを並べていく。



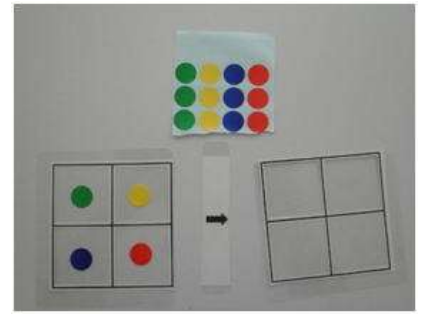
『同じようにシールを貼ろう!』

ねらい

- ・ラミネートされているため、シールを剥がしやすいので修正やくり返し使用可能。また、透明なので重ねて正誤が分かる。
- ・枠や色を増減することで、難易度を変えることができる。

使い方

- ①教師が見本となるシールを貼る。
- ②見本を良く見て、生徒がシールを貼る
- ③貼り終わったら、見本に重ねるようにして答え合わせを行う。



『輪ゴムひっかけ』

ねらい

- ・輪ゴムがポケットに入っているため、

取り出す際両手の指先を使うことになり

手先の巧緻性の向上をねらうことができる。

- ・ポケットから取り出す際、慎重にやらないと破れてしまうので必然的に丁寧さが求められる。



使い方

- ① ポケットから輪ゴムを取り出し、同じ色の画鋲に引っ掛ける。

『数のフラッシュカード(1~5)』

ねらい

- ・1~5までの数について、いろいろなパターンで

視覚的に数を量で判断する。

使い方

- ① 4cm 平方位の厚紙で、いろいろなパターンのフラッシュカードを作り、瞬時に見た数を答えさせて、1~5までの分類容器に分類させる。



『なかまわけ』

ねらい

- 物の名前や属性についての理解を深める
- 取り組む種類や数によって、難易度を変えることができる。

使い方

- ① 1つの容器に絵カードをまとめておき、仲間ごとに分類していく。

